

黙示録 11 章 14 節-19 節 スタディーガイド

大患難時代の間になりました。

★ 黙示録 11 章 14 節-15 節

第二のわざわいは過ぎ去った。見よ。第三のわざわいがすぐに来る。第七の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、天に大きな声々が起こって言った。「この世の国は私たちの主およびそのキリストのものとなった。主は永遠に支配される。」

14 節「第二のわざわいは過ぎ去った。見よ。第三のわざわいがすぐに来る。」

地震によってエルサレムの 10 分の 1 が破壊され、7 千人が死んだという出来事が第二のわざわいの終わりとなった出来事です。いよいよ、最後のわざわいが来ます。

15 節「第七の御使いがラッパを吹き鳴らした。」

ついに七つの鉢である最後の災難が始まります。これが終わると、ご再臨です。

15 節「すると、天に大きな声々が起こって言った。『この世の国は私たちの主およびそのキリストのものとなった。主は永遠に支配される。』」

サタンに惑わされながら人間が支配していたこの世は終わった、と過去形で預言の成就の確実性を語っています。

第七のラッパである七つの鉢の災難は、1260 日続きます。

あと 3 年半残っていますが、神の御国の到来が確実であることを知らせています。

★ 黙示録 11 章 16 節 - 18 節

それから、神の御前で自分たちの座に着いている二十四人の長老たちも、地にひれ伏し、神を礼拝して、言った。「万物の支配者、今いまし、昔います神である主。あなたが、その偉大な力を働かせて、王となられたことを感謝します。諸国の民は怒りました。しかし、あなたの御怒りの日が来ました。死者のさばかれる時、あなたのしもべである預言者たち、聖徒たち、また小さい者も大きい者もすべてあなたの御名を恐れかしこむ者たちに報いの与えられる時、地を滅ぼす者どもの滅ぼされる時です。」

17 節「万物の支配者、今いまし、昔います神である主。」

今現在おられる、永遠から永遠に存在なさる、全知全能の神様。

17 節「あなたが、その偉大な力を働かせて、王となられたことを感謝します。」

こう言って、24 人の長老たちが地にひれ伏しています

18 節「諸国の民は怒りました。しかし、あなたの御怒りの日が来ました。」

封印の災難もラッパの災難も神罰であることを知りながら、諸国の民は悔い改めず、怒りました。今までも主の御怒りが注がれていましたが、いよいよ激しい御怒りが注がれます。

18 節「死者のさばかれる時」

終末に生きている者が裁かれるだけではなく、神様に逆らっていた人類すべての死者たちも裁かれます。

千年王国のあと、永遠の神の御国である新天新地の到来前に来る、黙示録 20 章 11 節から 15 節に書かれている死者の復活と白い御座の審判の時を示していると考えられます。

イエス様の贖いを信じない者すべてが、復活して審判を受ける時です。

18 節「あなたのしもべである預言者たち、聖徒たち、また小さい者も大きい者もすべてあなたの御名を恐れかしこむ者たちに報いの与えられる時、地を滅ぼす者どもの滅ぼされる時です。」

神様を信じて、主に従ってきた者たちが、最高の報いを受ける時です。

その反面、神様に逆らい、神様に仕える者を迫害してきた者たちが滅ぼされる、罰すべき者が罰せられる時です。



黙示録 11 章 19 節

それから、天にある、神の神殿が開かれた。神殿の中に、契約の箱が見えた。また、いはずま、声、雷鳴、地震が起こり、大きな雹が降った。

それから、天にある、神の神殿が開かれた。神殿の中に、契約の箱が見えた

この神殿は本物の神殿です。モーセの幕屋もソロモンの神殿も、天にある神殿の写しです。



ヘブル人への手紙 8 章 5 節

その人たちは、天にあるものの写しと影とに仕えているのであって、それらはモーセが幕屋を建てようとしたとき、神から御告げを受けたとおりのものです。

「天にあるものの写しと影とに仕えているのであって」

地で作られたものは、天にある神殿の模型です。祭司たちはその模型に仕えていたのです。

ヨハネは天の神殿の幻を見えています。中には契約の箱が見えています。神様は契約の神様です。契約の箱とは、いったい何なのでしょう。

★ 出エジプト記 25 章 20 節-22 節

ケルビムは翼を上の方に伸べ広げ、その翼で『贖いのふた』をおおうようにする。互いに向かい合って、ケルビムの顔が『贖いのふた』に向かうようにしなければならない。その『贖いのふた』を箱の上に載せる。箱の中には、わたしが与えるさとしを納めなければならない。わたしはそこであなたと会見し、その『贖いのふた』の上から、すなわちあかしの箱の上の二つのケルビムの間から、イスラエル人について、あなたに命じることをことごとくあなたに語ろう。

20 節「ケルビムは翼を上の方に伸べ広げ、その翼で『贖いのふた』をおおうようにする。」

契約の箱をケルビムの 4 つの羽根が、かぶさるように覆っているのです。

20 節「互いに向かい合って、ケルビムの顔が『贖いのふた』に向かうようにしなければならない。」

ケルビムの顔がふたの方向に頭を下げています。ご臨在が現れる所ゆえ、へりくだっている姿です。

21 節「その『贖いのふた』を箱の上に載せる。」

「契約の箱」のふたです。ヘブライ語で「カッポーレ」と言います。このカッポーレの所に神様のご臨在が現れます。

21 節「箱の中には、わたしが与えるさとしを納めなければならない。」

「さとし」は、二枚の石に刻まれている十戒です。十戒は罪を表す律法です。十戒がなければ、何が罪で何が罪ではないのかが分かりません。

★ ガラテヤ人への手紙 3 章 19 節

では、律法とは何でしょうか。それは約束をお受けになった、この子孫が来られるときまで、違反を示すためにつけ加えられたもので、……。

違反を示すためにつけ加えられたもの

その律法である十戒が、私たちの罪を表しています。その契約の箱の上には、「贖いのふた」がかぶさっていました。神殿の中にあつた垂れ幕の向こう側にあり、大祭司以外、誰も見ることができないものでした。

ヘブライ語で「贖いのふた」は「カッポーレ」で、「覆う」という意味です。これはイエス様を表しています。

イエス様は、罪を十字架の血潮で覆って、誰も見ることができないようにしてくださったの

です。ガラテヤ人への手紙 3 章 22 節には、「律法は私たちの罪を表して、すべての人を罪の下に閉じ込めた」ということが示されています。
今は十字架の血潮できよめられ、罪の奴隷から解放されたのです。

★ ヘブル人への手紙 10 章 20 節

イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。

垂れ幕は、神様のご臨在が現れる契約の箱のある所を仕切って、大祭司が 1 年に一度だけ入ることができた場所です。その垂れ幕は、イエス・キリストの肉体を現していたのです。

★ マタイの福音書 27 章 50 節-51 節

そのとき、イエスはもう一度大声で叫んで、息を引き取られた。すると、見よ。神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。そして、地が揺れ動き、岩が裂けた。

50 節「イエスはもう一度大声で叫んで、息を引き取られた。」

同時に神殿の幕が裂かれました。ヨハネが天の神殿を見て、中を見ると垂れ幕はないので、契約の箱を見ることができています。

黙示録 11 章 19 節「また、いなずま、声、雷鳴、地震が起こり、大きな雹が降った。」

全能の神様の御力とご臨在を表しています。

◇◇次回は 12 章の、赤い竜と女とその子孫についてのお話に変わります。

★ エレミヤ書 30 章 7 節

ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。

残りの時間が少ないことを知って、サタンがいかにしてイスラエルの民を抹殺しようかと考え、追いかけます。

「その日は大いなる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。」

最後の三年半は、イスラエルの苦難の時です。

「しかし彼はそれから救われる。」

この苦難の時を通して、イスラエルに救いがやってきます。